

# 表札に文字を入れる方法（斜体文字と部分色変え）

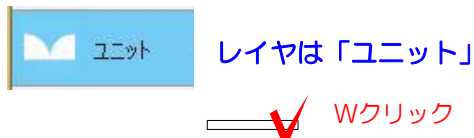
表札ののに文字を入れて斜体にしたり、部分的に色を変えることができます。



ステンレスサインなど平面的な塗装文字は3D文字で厚みを薄く作成します。

文字を斜めに配列する方法と、部分的に文字の色を変える方法です。

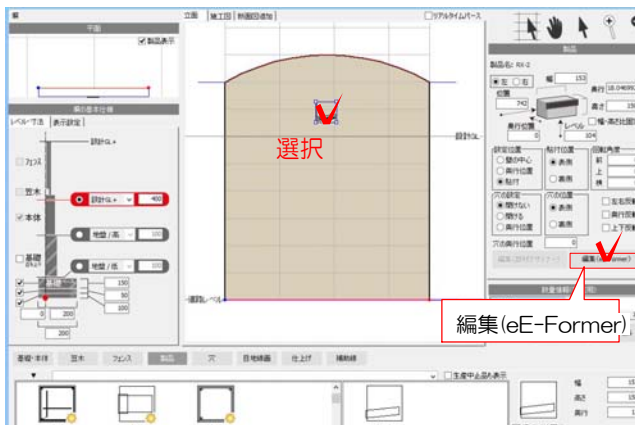
ここでは塀デザイナーの中で表札に3D文字を作成する方法を説明します。



1：ユニットレイヤで表札を付けたい門柱を作成します。

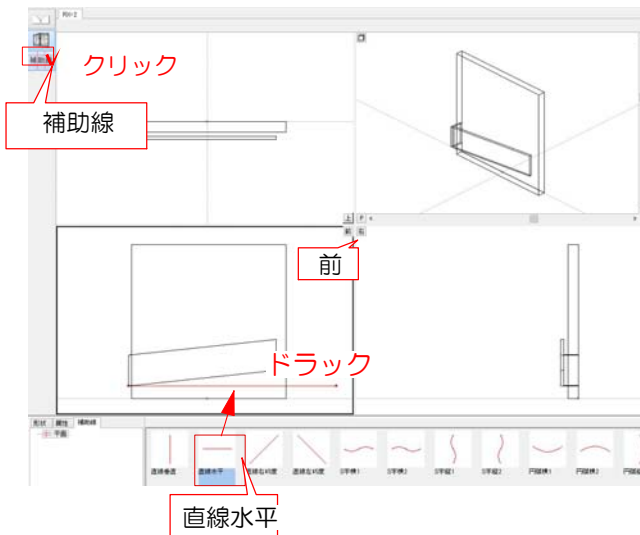
今回は  
メーカー：美濃クラフト  
種別：表札  
シリーズ：RX  
RX-2 を使用しています。

参考 製品の検索は  
Web72171 [塀に製品を配置する方法]を検索

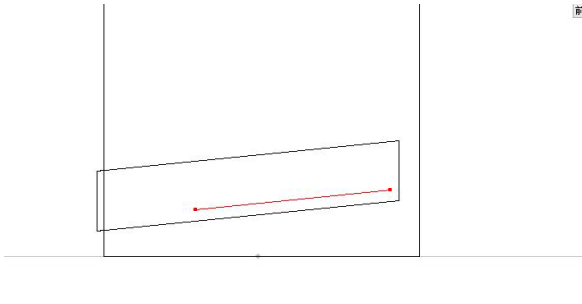


2：表札を選択して「編集（eE-Former）」をクリックします。

3：eE-Formerが起動します。

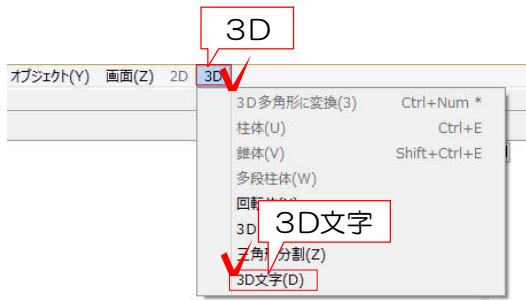


4：左上「補助線」をクリックし、補助線を前から見た画面にドラックで配置します。



5：表札に合わせて補助線の位置・長さを調整します。  
補助線の端点にカーソルを近づけると になり、クリックして動かすことができます。

※文字数やサイズによって長さを調節して下さい。



6：補助線を選択した状態で、3Dメニューの「3D文字」をクリックします。

※他の図形も一緒に選択しているとメニューを選ぶことができません。  
補助線が1つだけ選択されているか確認しましょう。

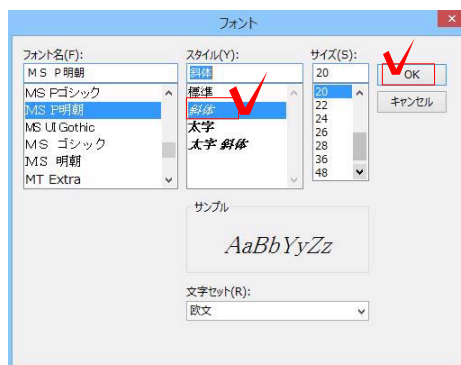


7：文字列に作りたい文字を入力します。Enterキーをクリックします。

文字高・文字間隔・フォントなどを設定します。  
※3D文字の厚みは薄くしたい為、文字奥行は1mmに設定します。

フォントの右にあるボタンをクリックします。

※こちらの画面では文字を作る範囲を変えることは出来ません。一度作成画面を閉じて補助線の長さを調節してから作成しましょう。



8：フォントの設定が開きます。  
スタイルを斜体に設定します。  
「OK」をクリックしてフォントの設定を終了します。



9：3D文字設定の「OK」をクリックします。


詳しくは

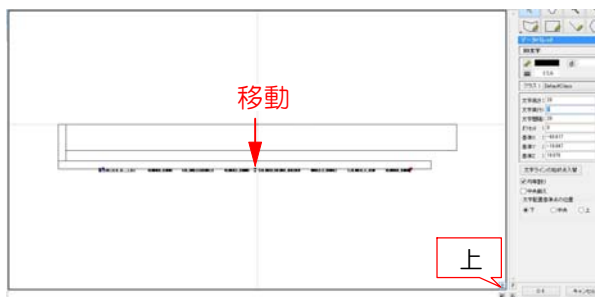


おすすめ&新機能→オーセブンCAD  
11新機能→3D文字作成機能



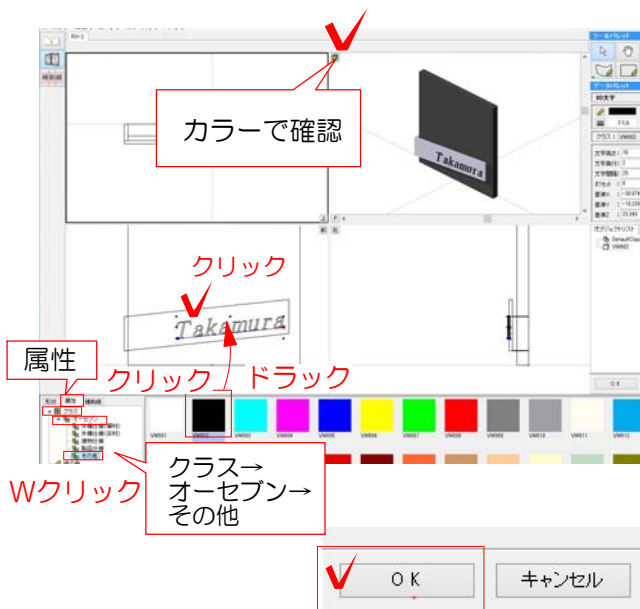
10：3D文字が出来ました。  
左上の3D編集をクリックします。

 3D文字を編集したい場合は、画面右のデータパレットで数値の変更することが出来ます。  
  
または作成した3D文字をWクリックして編集することが出来ます。




11：上から見た画面で3D文字の位置がずれている場合はドラックで移動します。表札の中に3D文字が埋まらないように設置しましょう。

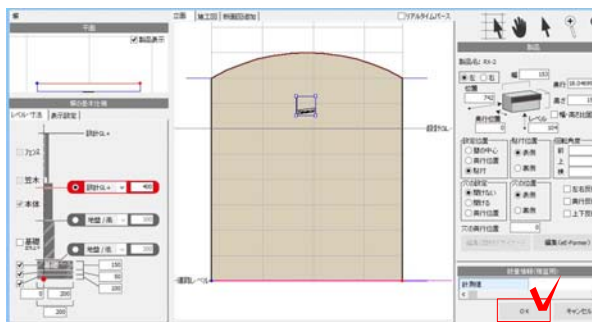
「上」をクリックすると上から見た画面を拡大して作業することが出来ます。  
※もう一度「上」をクリックすると4つの画面に戻ります。



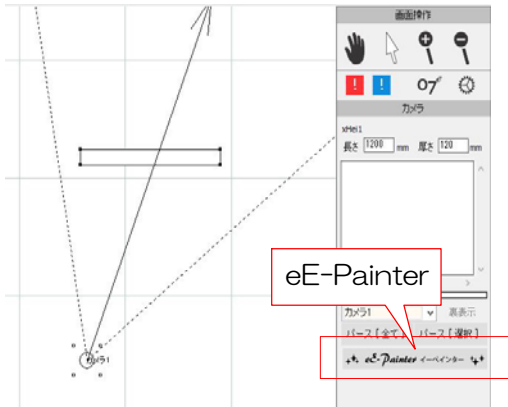
12：3D文字を選択して  
属性→クラス→オーセブンから仕様を  
Wクリックで選び（「P」以外の画面に）  
ドラックして仕様を 割り当てます。

右上「P」の画面のボタン  をクリックするとカラーで確認出来ます。

13：右下の「OK」をクリックしてeE-Formerを終了します。



14：塀に文字を作成した表札が配置されます。  
右下の「OK」をクリックして塀デザイナーを終了します。



15：カメラを設置してeE-Painterを起動します。



6：eE-Painterで確認します。  
 テクスチャを変更する場合はレンダリングをクリックしてテクスチャを選び、表札の3D文字にドラックします。

7：表札に沿って3D文字を作成することが出来ました。

💡【文字の色を一文字だけ変えたい場合】



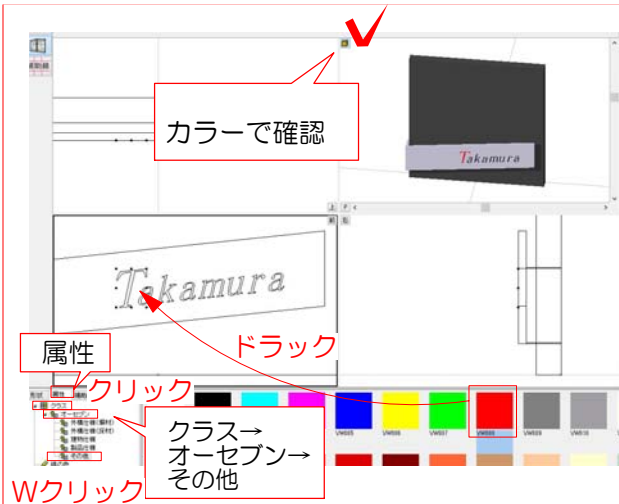
文字の一部だけ仕様を変え、色を変更する方法です。

12まで同じ手順で作成します。


1：3D文字を選択した状態で、オブジェクトメニューのグループ解除をクリックします。

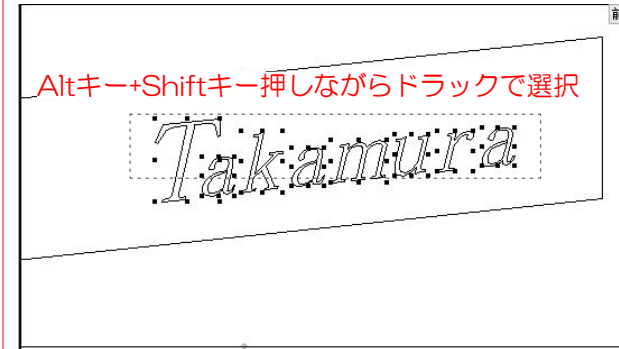
※グループ解除後は3D文字設定画面で編集が出来ません。

2：何も無いところをクリックして選択を解除します。

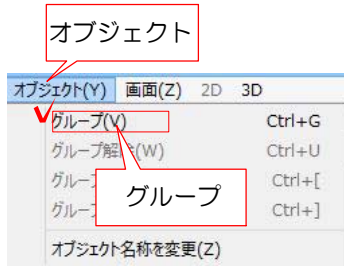


3：仕様を分けたい3D文字を選択して  
属性→クラス→オーセブンからWクリック  
で仕様を選び（「P」以外の画面に）  
ドラックして仕様を 割り当てます。

右上「P」の画面のボタン  をクリック  
するとカラーで確認出来ます。

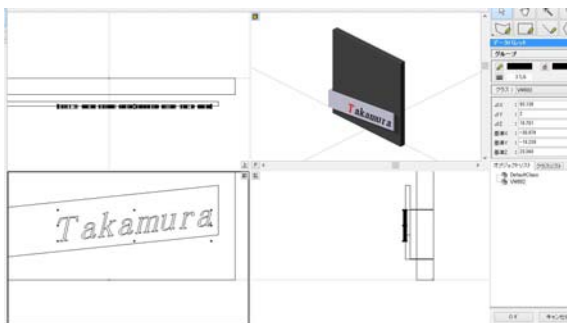


4：文字をすべて選択してグループ化します。



5：オブジェクトメニューのグループをクリック  
してグループ化します。

（グループ化しなくても仕上がりは変わりま  
せんが、編集するとき作業がしやすくなり  
ます）



14～と同じ手順となります。

文字の色を分けることが出来ます。

